

パタビヤ發UP電に依れば。オランダ外相は五日ラヂオを以てオランダ國民に呼びかけ侵略戦には飽く迄抵抗する決心であること述べ。次でボーバム英大將軍とのマニラ會談に論及しボーバム大將が記者團との會見席上における旨を引用し。シンガポール。蘭印。濠洲は一單位をなすものであつてその一部が攻撃されれば全部が攻撃を受けたことに成る。大將が云はれたのは善し名言である。吾々オランダ人として必要ある場合には一戦を辭せざるものであることを世界に告げる必要があること述べオランダの決心あることを聲明したと云はれて居る。

## 程粉謀長

外國宣傳情報 第四號

昭。一六。五。一五情報局

本資料は外國發信局發信内容を其儘採録しあり、重慶又は第三國筋の宣傳の意圖による作爲的なる報道も少なからざるべきを以て取扱には特に注意を要す。

### ◎重慶へパー議員の演説を大歓迎

米上院議員へパーの演説に關し、重慶側より出ずる放送は、同議員の主張が大平洋戰爭中に中國を英米海軍の後盾とせしめるにあり、結果米の對支武器供與は一層積極化し極めて歓迎すべきなりと宣傳しあり。

△成都（中央通信）五月七日 國際放送

へパー上院議員が五月六日の上院で行つた勸告は一般に次の二つの理由によつて重要であ

るに見られてゐる。即ち(一)それは恐らくアメリカの政治家が日本に對して行つた最も率直な聲明であり、(二)世界戦争勃發以來上院で行はれた樞軸國に對する最も強硬なる勸告であること云ふことである。終始政府の支持者であるヘッバーは早くから對英援助を提唱し、アメリカは新嘉坡防衛の爲許りでなく、協力してアイスランド、カナリア諸島等を占領する爲にイギリスと協力すべきであること主張した。右勸告の中で極東の戦争に影響を及ぼす重要なことは、(一)英米海軍は日本の行動を封ずる爲に太平洋に於て公然と協力する。(二)アメリカ製の爆撃機をアメリカ人の操縦士と共に支那に與へる、こと云ふのである。

#### △重慶五月八日 日本語放送

ワシントン發ルーター電に依れば米民主黨上院議員ヘッバー氏は六日上院で重要演説を行ひ、英米海軍太平洋で合作を行ひ、日本海軍を封鎖すべし、米國には中國に空中要塞を送り東京を爆撃すべしと力説したが、その演説に於て同氏の稱する處は次の如くである。即ち吾人の知る處では日本は大きな野心と陰謀を有して居るものである。米艦隊は東方の強盜の機先を制すべく強硬なる態度を執るべきである。先太平洋に米艦隊を派遣して英國を援助してシンガポールの現状を維持し、太平洋に於て英米合作して日本海軍を封鎖すべし更に日本人民に警告を與へるべく五〇臺の長距離爆撃機を中國に供給し志願の飛行士によ

つて東京を爆撃し、日本の首都が中國の首都の様になれば日本人の慘忍性も消殺されるであらう。云々。

ヘッバー氏はル氏與黨の要處の一人であつてかかる人物がこの様な意見を發表したことは米輿論の硬化を示すものとして注目されて居る。

#### ◎松岡渡米説に對する重慶批判

松岡外相渡米説を繞る動向に關し重慶側より出ざる放送は日本が侵略主義、御都合主義外交である以上絕對に成功し得ず、また米國輿論も冷淡であつて松岡訪米説は全く馬鹿らしき事なりとの宣傳しあり。

#### △四川五月三日 英語放送

日本政府は今度松岡外相を米國に派遣して日米兩國關係の好轉を計畫して居るが、日本が現在行つて居る事實は絕對に米國が承認し得ない處である事はルーズヴェルト大統領、ハル國務長官等が度々聲明して居る事である。例へば松岡外相が渡米して如何に熱辯を振ふとも米國の對日政策には何等の變化も來さないであらう。松岡外相が蘇聯に於て短時間に日

蘇中立條約を締結した事を以て米國を測したならば夫れは結局非常な誤算と成つて現出するであらう。若し日米兩國關係が好轉する可能性ありとするならば夫れは左の二條件を日本が實行した時である。即ち

1. 日本は南進政策を放棄して南進せざる事を保障する事。  
2. 日本は何等の條件を附せずして日本全軍を支那領土上から撤退する事。  
日本が右の二條件を實行せざる限り日米關係の好轉は望めず、支那は飽く迄抗戦を續け米國の對支援助は愈々活潑と成り結局日本は崩潰する事と成るであらう。崩潰に瀕して居る日本は絶対に松岡外相一人の口先で救へるものではない。

△重慶 (中華通訊) 五月八日 (ワシントン五日電)

ハル國務長官は本日記者團と會見、席上記者團が「松岡日外相が赴米すると言ふのを拒絶したとの事であるが如何」と質問したのに對し國務長官は「松岡外相の赴米説は以前儘か」に仄聞したにすぎず、最近のことは全く知らない」と論評を避けた。またウイルス民主黨議員は最近下院に於て左の如く言つてゐる。

余は日本が一週間の期限を以て樞軸より離脱することを主張する。若しこの期間内に日本が離脱する能はざれば余は斷乎たる手段を以て根本的に日本を消滅し、再び地球上にかくの如き國家をあらしめないことを主張する。

△大美晚報電五月八日 北京語放送

(ワシントン七日發) 米國一般民衆の松岡の訪米に對する意見は冷淡なり、當地消息源の語る所に依れば「ルーズヴェルト及びハルの日本訪問なるは考へ得ざる事なり」と。當地は又松岡のワシントン訪問に熱烈なる歡迎の意を表示せず、之に對し官邊は沈黙を守りあるが、消息源の意見を見るに「日本は米國の在支利益を破壞せり、今松岡を米國に赴かしめ相互不可侵協定を締結せんとするは徒らに其の厚顔無恥を示すのみなり」とあり、エリス氏は「もし日本が米國に服従せざれば日本を地獄上より消滅すべし」と主張し「米皇は機を東京に派し之を屠殺場とすべし」と主張せり。

◎滇緬公路再封鎖説は事實無根なり

最近流布ありたる滇緬公路再封鎖説に關し、重慶側放送は、日本の威壓による再封鎖説は何等根據なきものにして英國の援支 政策不變を宣傳しあり。

△香港電報 (レイター) 五月八日 廣東語放送

(重慶八日發) 英國當局は日本の威壓により種々の再封鎖せりとの謠言に對し駐日英大使クレイギと日外務次官大隈との會談を否定せり、クレイギは通信の果敢たる所を以ては社會見は種々の封鎖せり、又英大使は明日本使内外新聞記者會に對し種々の封鎖せり

△重慶(中華通訊)五月九日

余が重慶に到着以來英國政府は極東政策を改定し滇緬公路を封鎖せんとしてゐるこの謠言を常に聞いた、斯くの如き謠言の來源を一般には信じないであらうが長らく傳はれば自然人心を擾亂するに至るので余は斷然この事實無き謠言が再び傳はらざる様にしたがい最近余は本國政府外交部長よりの訓令を得たが斯くの如き謠言の根柢は絕對に無いと各々に聲明し得るのである、英國政府と中國との友好關係は滇緬公路開放により既に明示せられて居り、その友誼は以前と變りなく、又滇緬公路も依然として開放せられることを保證する

◎の援支愈々實現

△慶(UP電)五月八日

アメリカの對支飛行機援助の可能性は俄然アメリカ製飛行機に對する一般的及び個人的關心を昂めてゐる。本日の支那軍機關紙「掃蕩報」は空の要塞を専門的に詳細に説明した優い論説を掲げてゐる。同紙はその論説の序論に於て、最近の報道によるミアンマーは爆撃機二十臺及び空の要塞十七臺を含む四百臺の軍用機を支那に與へようとしてゐると述べてゐる。

△中央通信(中央通信)五月九日 北京語放送

電に依れば米國の飛行機に依る援支の可能性は確實となり、日本民衆間に米の援支に對して注意を拂ふに至らしめたりと、又聞く所に依れば「米國は飛行機四百機を以て支那を援助すべし、内十二機はボトイング、一七式の飛ぶ要塞なり」と。

3 252

本資料は外國發信局發信内容を其儘採録しあり、重慶又は第三國筋の宣傳の意圖による作爲的なる報道も少なからざるべきを以て取扱には特に注意を要す。

外國宣傳情報 第五號

昭・一六・五・一六情報局

◎駐支米大使更迭と重慶政府

駐支米大使更迭に際し重慶側より出する放送は、日本の侵略政策究極の目的が中國と同時に大平洋、米大陸にあり、かくの如き世界の破壊者日本に對し中米兩國提携の緊密強化は一層必要切實なりと宣傳しおり

△重慶五月十二日 日本語放送

蔣委員長は十日夜ジョンソン大使の送別宴を開催したがその席上大體次の様な送別の辭を述べた。